

第 2 学年 図画工作科 学習指導案

日 時 平成 16 年 11 月 10 日 (水) 5 校時
 児 童 2 年 1 組 男子 15 名 女子 13 名 計 28 名
 指 導 者 菊 池 緑

1 題材名 「あそびのつまったおもしろバッグで...」 表現 (2) 総合的な扱い

2 題材について

(1) 教材について

いつでもどこでも気軽に開けば遊びが始まる、携帯用遊びバッグをつくって楽しむ活動が中心になる。ゲームや着せ替え、紙芝居など、生活経験を生かしてバッグに詰める遊びを考えていく。また、つくった後は友達と一緒に遊ぶ中でお互いのよさや工夫を感じ取ることができる題材である。

本題材は、学習指導要領の低学年の目標 (2) 「材料をもとにした造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。」を主なねらいとし、指導内容 A 表現 (2) 「感じたことや想像したことなどを絵や立体に表したり、つくりたいものをつくったりする」を受けて設定した総合的な造形活動の題材である。総合的な造形活動では、これまでの生活経験や培ってきたものの見方や考え方、あるいは技能などを総合的に生かして課題を解決していく子どもたちの姿を期待している。本題材は遊びの内容やバッグのつくり方、また遊ぶ会の設定など、活動の中で子どもたち自身が様々な自己選択、自己決定をし、造形活動とおしたコミュニケーションの楽しさを味わうことができる題材だと考える。

(2) 児童について

つくったり描いたりすることが好きで、図工の時間は夢中になって活動する子が多い。全体的に表現に対する興味・関心が高く、どのような題材でも意欲的に楽しみながら取り組む。つくりたいイメージをもち、思いのままに楽しく表現することができる反面、作業が雑になりがちな子が男子に多い。また、つくりたいものはイメージできていても、切ったり、貼ったり、つなげたりするための方法や道具の使い方に対して無頓着なために、思うように活動が広がらないこともある。このような子どもに対しては、適切な言葉がけや技術指導を行い、自信をもって表現活動ができるようにしていきたい。

「A 表現 (2)」に関わる活動としては、1 学期に「きって、ひねって、つなげると」で造形紙を迷路のように切り、つなげ方を試しながらできる形を楽しんだ。また「ぶかぶか、ゆらゆら」では透明容器の特徴を生かして水に浮かべて楽しむものをつくった。尚、1 年生の時には生活科の「おもちゃランド」で自分たちが考えた大きなおもちゃを作り遊んだり、遊ばせたりする活動を経験してきている。

(3) 指導について

指導にあたっては、遊びのアイデアをもたせながらそれに合わせてバッグの大きさを決めていくようにする。つまづいている子には、初めにバッグをつくり、手に持ったり肩にかけたりする中でバッグの中に詰める遊びのアイデアをふくらませていけるようにしたい。実際にバッグを持つことで、構想の段階でつまづいている子にも中に詰めるものの大きさをイメージさせたり、つくりたい遊びのアイデアを広げさせていくようにする。

制作の段階では、バッグの中という限られたスペースに自分のイメージする遊びを表現するために、箱の大きさを考えて小道具をつくるなどの細かな作業も必要になってくる。技能的な面でつまづいている子には、切り方や貼り方を支援していきたい。

鑑賞の場面では、お互いのバッグで遊ぶ活動を通して、友達の表現のよさや工夫を感じ取らせていきたい。

3 題材の目標

(1) 自分の思いを広げながら、遊びを創造する楽しさを味わうようにする。

【関心・意欲・態度】

(2) 今までの経験を振り返りながら、バッグに詰める遊びのアイデアを広げるようにする。

【発想や構想の能力】

(3) 自分のつくりたいものに合わせて、材料を選んだり、つくり方を試したりしながら、つくってみたい遊びの道具やしかけをつくる。

【創造的な技能】

(4) 作り方や遊び方の交流や友達と一緒に遊ぶ中で、お互いのよさや工夫を感じ取るようにする。

【鑑賞の能力】

4 題材の学習・評価計画 (5 時間)

(1) 題材の評価規準

《A 表現 (2)》

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能
楽しいおもしろバッグをつくるために、材料やつくり方などを考え、自分の思いのままにすることをしようとする。	バッグの形や飾り、中に詰める遊びのアイデアをもち、表したいことに合わせて、好きな色や材料を選びつくり方などを考える。	バッグの形や飾り、中に詰める遊びに合わせて、身近な材料や用具を手などを働かせて使い、思いついたことを試す体験をとおしながら思いのままにつくる。

《B鑑賞(1)》

関心・意欲・態度	鑑賞の能力
お互いのおもしろいバッグのつくり方のよさや工夫、遊びの楽しさなどに関心をもとうとする。	お互いのおもしろいバッグのつくり方のよさや工夫、遊びの楽しさなどについて、話したり聞いたり遊んだりしながら感じ取る。

(2) 学習計画と学習活動における具体的評価規準

時間	学習内容	学習活動における具体的評価規準 (Cへの手立て)【評価方法】
1	遊びをコンパクトにする秘密に気づく。 遊びのバッグを作ることを知り、作りたいバッグのアイデアを練る。	<p>《関 A》 バッグをつくることに興味・関心をもち、その楽しさやよさなどについて積極的に発言している。</p> <p>《関 B》 バッグをつくることに興味・関心をもっている。 【発言・活動の様子】 (作例で遊ばせたり、経験を話させたりしながら興味・関心をもたせるようにする。)</p> <p>《発 A》 バッグに詰める遊びを自分の経験をもとにたくさん考えたり、詳しく考えたりして、つくりたいものを見付ける。</p> <p>《発 B》 バッグに詰める遊びを自分の経験などをもとに考え、つくりたいものを見付ける。 【発言・ワークシート】 (作例に触れさせたり、友達のアイデアを参考にさせたりしながら考えることができるようにする。)</p>
2 ・ 本時 ・ 4	身近材料を利用して遊びのしかけを箱の中につくる。 遊びに使う小道具をつくる。	<p>《関 A》 自分の思いを表すために、主体的に好きな材料を選んだりいろいろな遊びの仕組みをつくりたり試したりしながら、思いのままにつくることを楽しんでいる。</p> <p>《関 B》 自分の思いを表すために、いろいろな材料に触れたり、つくりたい遊びの仕組みを考えたりしながら、自分の思いのままにつくることを楽しんでいる。 【発言・活動の様子】 (作例で遊ばせたり、つくりたい遊びを話させたりしながら、興味関心をもたせるようにする。)</p> <p>《発 A》 バッグの中でより楽しく遊べるように、箱の特徴を生かして遊び方やルールを考えたり、自分の経験から遊びやルールを新しくつくりだしたりしている。</p> <p>《発 B》 バッグの中でより楽しく遊べるように、箱の特徴を生かして遊び方やルールなどを考えている。 【活動の様子・作品】 (友達のアイデアを参考にさせたり、遊びの経験を話させたりしながら考えることができるようにする。)</p> <p>《技 A》 表したいことに合わせて意欲的に材料を探したり、自分が考えた作り方や遊び方を試したりしながら、つくりたい遊びの道具やしかけをつくる。</p> <p>《技 B》 表したいことに合わせて材料を選んだり、作り方を試したりしながら、楽しくおもしろい遊びの道具やしかけをつくる。 【活動の様子・作品】 (作例に触れさせたり、友達の作品を参考にさせたりしながら、作り方や遊び方を試すことができるようにする。)</p> <p>《鑑・関 A》 自分の作品や友達の作品を見て、材料の選び方やバッグのつくり方のよさ、遊びの仕組みや遊びの楽しさなどに関心をもっている。</p> <p>《鑑・関 B》 自分の作品や友達の作品を見て、バッグのつくり方のよさや遊びの楽しさに関心をもっている。 【発言・活動の様子】 (自分の作品を試したり、友達の作品に触れさせることにより、興味・関心をもたせるようにする。)</p>
5	おもしろいバッグで遊ぶ計画を立てる。 楽しく遊ぶ中で、それぞれのアイデアや工夫を見つけ合う。	<p>《鑑・能 A》 お互いのバッグで遊ぶ中でたくさんの友達と関わりながらお互いのおもしろいバッグのつくり方のよさや工夫、遊びの楽しさについて積極的に話したり聞いたり遊んだりして感じ取っている。</p> <p>《鑑・能 B》 友達と一緒に遊ぶ中で、お互いのおもしろいバッグのつくり方のよさや工夫、遊びの楽しさについて話したり聞いたり遊んだりして感じ取っている。 【活動の様子・発言】 (いろいろな友達の作品で遊ばせたり、自分のバッグの遊び方を友達に説明させたりする中で、楽しんで遊んだり見たりすることができるようにする。)</p>

5 本時の指導

(1) 目標

自分のつくりたいものに合わせて、材料や用具を選んだり、つくり方や遊びを試したりしながら、つくってみたい遊びの道具やしかけをつくる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	支援・評価・【評価の方法】
思いをもつ 5分	1 前時の活動をふりかえり、本時の活動について確認する。 バッグのポイント ・材料や用具を確認する。 2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> いろいろなつくり方やあそび方をためしながら、おもしろバッグのあそびをつくらう。 今日のポイント 作業の順序 </div>	これまでの制作の工夫点と活動の予定について発表させ意欲をもたせる。 友達の発表からよさや工夫点に気づかせ、自分の活動に生かせるようにする。 遊びの仕掛けの他に、遊びに使う小道具などもつくっていくことを確認する。 前時につくり方や遊びを試しながら活動していた子を紹介したり、子どもたちから発表させたりして、本時の活動につなげるようにする。
あらわす 30分	3 作品をつくる。 ・自分の思いを表現する。 ・自分のつくりたいものに合わせて材料を選んだり、作り方をためしたりする。	活動の様子を見ながら、作業が進んでいる子には、遊び方を試させたり、小道具や商品など工夫できることはないか考えさせる。 作業につまづいている子には、対話をとおして原因を考え、適切な支援をすることで意欲の継続を図る。 自分がつくった遊びのしかけを試しながら活動させるように声がけをする。 自由に材料を選んだり、遊びを試したりできるように場の設定を工夫する。 《技》【活動の様子・作品】 《発》【活動の様子・作品】
まとめる 10分	4 今日の活動をふりかえる。 ・工夫したところや気に入ったところなどを発表する。 5 次時の活動を知る。	学習をふりかえり、自分の作品のよさを見つけさせるようにする。 遊びを工夫した作品を取り上げて紹介したり子どもから引き出したりしながら、よさを全体で認め合えるようにする。

(3) 評価規準・具体的評価規準

評価規準【方法】	具体的評価規準及び指導・支援の手立て		
	A：十分満足できると判断する視点	B：おおむね満足できると判断する視点	C：努力を要する児童への指導・支援の手立て
《技》表したいことに合わせて材料を選んだり、作り方を試したりしながら、楽しくおもしろい遊びの道具やしかけをつくる。 【活動の様子・作品】	表したいことに合わせて意欲的に材料を探したり、自分が考えた作り方や遊び方を試したりしながら、つくりたい遊びの道具やしかけをつくらう。	表したいことに合わせて材料を選んだり、作り方を試したりしながら、楽しくおもしろい遊びの道具やしかけをつくる。	作例に触れさせたり、友達の作品を参考にさせたりしながら、材料選びや作り方や遊び方を試すことができるようにする。
《発》バッグの中でより楽しく遊べるように、箱の特徴を生かして遊び方やルールなどを考える。 【活動の様子・作品】	バッグの中でより楽しく遊べるように、箱の特徴を生かして遊び方やルールを考えたり、自分の経験から遊びやルールを新しくつくりだしたりしている。	バッグの中でより楽しく遊べるように、箱の特徴を生かして遊び方やルールなどを考える。	作例に触れさせたり、友達のアイデアを参考にさせたりしながら考えることができるようにする。

(4) 板書計画

あそびのつまったおもしろバッグで

めあて いろいろなつくり方やあそび方を ためしながら、おもしろバッグの あそびをつくろう。	さぎょうのじゅんじょ あそびのしかけ 道ぐ あそびをためす かいらょうする
--------------------------------------------------------	---------------------------------------------------

おもしろバッグのポイント
・じょうぶに
・カラフルに

きょうのポイント
・よりじょうぶなつくり方
・より楽しいあそび方

ためしてみる

ほかに つくりたい もの

(5) 場の設定

黒 板

ホットボンド コーナー	材料コーナー	
		
		